

自動車アセスメントロードマップ改定案

自動車アセスメントロードマップ2025(案) ※1.2

		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度～	
より安全な自動車の普及対策	予防安全性評価	衝突被害軽減ブレーキ	対歩行者:昼間						
			対歩行者:夜間(街灯あり・街灯なし)	評価効率化適用					
			対自転車						
			交差点 1: 対車両(右直)	評価内容検討(衝突ポイント)					
			交差点 2: 右左折時の横断歩行者						
			交差点 3: 対車両(出会い頭)	試験・評価方法検討	予備試験				
			交差点 4: 対二輪(右直)	試験・評価方法検討	予備試験				
		後退時歩行者	実施可能時期・技術の妥当性を確認(他の技術との関係を整理)						
		対対向車							
		V2X	ユースケースの検討(V2N、V2I、V2V等)	試験・評価方法検討					
	高機能走行用前照灯								
	ペダル踏み間違い時加速抑制装置	走行中 ^{※3}	試験・評価方法検討	予備試験					
	車線逸脱警報装置・車線逸脱抑制装置								
	ドライバーモニタリングシステム		調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験				
	先読み運転(リスク低減運転支援)		調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験				
	新規追加	・ドライバー異常時対応システム ・自動運転を見据えた運転支援技術 等	新規追加項目検討			調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験	
	効率化・廃止検討		効率化・廃止検討		効率化・廃止検討		効率化・廃止検討		
	衝突安全性評価	乗員保護	前面(フルラップ)						
			前面(新オフセット)	台車重量増加・バリア変更	調査・研究		試験・評価方法検討	予備試験	
			側面	評価改善	調査・研究		試験・評価方法検討	予備試験	
			後面頭部保護						
			助手席・後席シートベルトリマインダ						
		歩行者保護	頭部	頭部保護対策の強化	試験・評価方法検討		予備試験		
		脚部							
		新規追加	・ファーサイド側突 ・バーチャルテスト 等	新規追加項目検討			調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験
効率化・廃止検討			効率化・廃止検討		効率化・廃止検討		効率化・廃止検討		
事故後被害軽減性能評価		事後自動緊急通報装置	次世代	後席対応	試験・評価方法検討	予備試験			
			交通弱者対応	検証					
	その他事故後被害軽減技術(レスキューシート、ERG ^{※4} 4など)	新規追加項目検討	調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験				
情報提供	車内こども置き去り防止支援装置								
	交通標識認識システム(TSR)								
	新オフセット前面衝突(後席Q6・Q10ダミー)	情報提供方法検討	予備試験						
	側面衝突(後席Q10ダミー)		情報提供方法検討		予備試験				
より安全な商用車の普及対策	予防安全性評価	新規追加	・衝突被害軽減ブレーキ ・車線逸脱抑制装置 ・ドライバー異常時対応システム 等	導入効果検証		調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験	
より安全なCRSの普及対策	CRS安全性評価	前面衝突時安全性	R129対応	試験・評価方法検討	試験・評価方法検討 予備試験				
		側面衝突時安全性		試験・評価方法検討	予備試験				
	使用性								
	啓発	普及方針の検討							

※1 文字色 **赤字**: 前回ロードマップに追記、または変更したもの。セル色 **水色** は新規試験項目の調査・研究等、**緑色**: 評価(実施済、実施予定、変更予定を含む)、白: 未対応 ※2 適宜見直しを行うため変更があり得る ※3 法規の動向を踏まえて検討
 ※4 Emergency Rescue Guide ※※ 上記のロードマップの変更とともに責任点のあり方について検討を行うものとする ※※※ 各評価項目のシミュレーションによる評価の可能性について検討を行うものとする

衝突被害軽減ブレーキ 交差点4:その他(二輪など)

明確化

- 二輪車との右直シナリオについて、2026年度の評価開始に向けた検討を進めるにあたり、具体的なシナリオを明確化するため表現を変更する。

		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度～
衝突被害軽減ブレーキ	交差点4: その他(二輪など)	試験・評価方法検討		予備試験				

		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度～
衝突被害軽減ブレーキ	交差点4: 対二輪(右直)	試験・評価方法検討	予備試験					

ペダル踏み間違い時加速抑制装置

明確化

削除

- 既存の評価(対車両・対歩行者)と、検討中の評価を明確化するため表記を変更する。
- 調査研究結果からガラス対応は社会損失額が非常に小さく、既に対応済みの性能を改めて評価する事になるため削除する。

		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度～
ペダル踏み間違い時加速抑制装置		試験・評価方法検討 (走行中・ガラス対応等)		予備試験				

		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度～
ペダル踏み間違い 時加速抑制装置	走行中^{※3}	試験・評価方法検討		予備試験				

※3 法規の動向を踏まえて検討

予防安全性能評価 新規追加

追加

明確化

- 今後も様々な技術の普及が重要となるため、「ドライバーモニタリングシステム」と「先読み運転(リスク低減運転支援)」を2028年度評価開始に向けた新規項目として追加する。
- これまで新規追加候補として挙げられていた「自動運転技術」を「自動運転を見据えた運転支援技術」として明確化する。

		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度～
新規追加	・ドライバーモニタリングシステム ・ドライバー異常時対応システム ・自動運転技術 等	新規追加項目検討		調査・研究 (追加項目)	試験・評価方法検討 (追加項目)	予備試験 (追加項目)		

		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度～
	ドライバーモニタリングシステム		調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験			
	先読み運転(リスク低減運転支援)		調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験			
新規追加	・ドライバー異常時対応システム ・自動運転を見据えた運転支援技術 等	新規追加項目検討			調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験	

新オフセット前面衝突

追加

- 昨今、乗用車は車両重量が増加傾向である中、軽量車が重量車に衝突した際、軽量車乗員の死亡重傷率が高くなることから、軽量車の衝突対策が課題となっている。
- そこで、2025年度から台車重量増加に向けた検討を行い、2030年度から台車重量増加を行う。
- 台車重量1600kgへの増加を見据えた検討を行い、事故実態等も踏まえ試験・評価方法を決定する。
- なお、台車重量増加に伴い、バリアの変更も合わせて検討することとする。

		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度～
乗員保護	前面 (新オフセット(含THORダミー))	予備試験						

		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度～
乗員保護	前面 (新オフセット) 台車重量増加・バリア変更		調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験			

側面衝突

明確化

- 評価改善検討(台車重量増加、台車速度増加等)のスケジュールを明確化する。
- 後席Q10ダミーの情報提供について検討を行う。 ※情報提供の項目に追加

		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度～
乗員保護	側面	評価廃止検討	評価改善検討					

		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度～
乗員保護	側面 評価改善		調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験			

歩行者保護 頭部

明確化

- 頭部保護技術の向上を図るためには、歩行者頭部保護エリアの拡大、Aピラー衝突、適正なガラス評価方法の構築等、歩行者頭部保護対策の強化を行う必要があるため、表現を明確化する。

		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度～
歩行者保護	頭部	試験・評価方法検討 (衝突ポイント拡大等の変更検討)				予備試験		

			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度～
歩行者保護	頭部	頭部保護対策の強化	試験・評価方法の検討			予備試験			

衝突安全性能評価 新規追加

削除

追加

- 調査研究結果から、スモールオーバーラップは現時点で市場事故を再現する試験法がないことから「等」に含めることとする。
- 「バーチャルテスト」を新規追加項目の候補として追加する。

		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度～
新規追加	・スモールオーバーラップ ・ファーサイド側突 等	新規追加・項目検討		調査・研究 (追加項目)	試験・評価方法検討 (追加項目)	予備試験 (追加項目)		

			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度～
新規追加	・ファーサイド側突 ・バーチャルテスト 等	新規追加項目検討			調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験		

事故自動緊急通報装置

明確化

追加

- 2024年度第1回自動車アセスメント評価検討会において合意された内容を反映する。
- 既存の評価(基本型・先進型)と、検討中の評価を明確化するため表記を変更する。

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度～
事故自動通報装置	調査・研究 (次世代)	試験・評価方法検討 (次世代)	予備試験 (次世代)	開始可否を確認中			

			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度～
事故自動緊急 通報装置	次世代	後席対応	試験・評価方法検討	予備試験					
		交通弱者対応	検証						

商用車に対する評価の導入

追加

- 商用車は、ひとたび事故が発生すれば、その加害性の高さから被害が甚大になるおそれがある。
- 昨今、衝突被害軽減ブレーキ等の予防安全技術の導入が進みつつあるが、各社の装置の性能には違いがある。
- 欧州においては、商用車のうちトラック及びバンがEURO NCAPの対象となった。
- より安全な商用車の普及を促すため、商用車に対する自動車アセスメントの導入に係る検討を開始する。

				2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度～
より安全な 商用車の 普及対策	予防安全 性能 評価	新規追加	・衝突被害軽減ブレーキ ・車線逸脱抑制装置 ・ドライバー異常時対応システム 等		導入効果検証	調査・研究	試験・評価方法検討	予備試験		

【参考】自動車アセスメントロードマップ2024※1.2

			2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度～		
より安全な自動車の普及対策	予防安全性評価	衝突被害軽減ブレーキ	対車両	評価廃止検討	廃止						
			対歩行者(昼間)	評価内容検討 (子供ダミーの採用等)	評価効率化検討						
			対歩行者(夜間・街灯あり)	2018年度～							
			対歩行者(夜間・街灯なし)	2019年度～							
			対自転車	評価内容検討 (義務化に伴う見直し)	評価効率化適用						
			交差点 1: 対車両(右直)	予備試験	評価内容検討 (衝突ポイント)						
			交差点 2: 右左折時の横断歩行者	予備試験							
			交差点 3: 対車両(出会い頭)	試験・評価方法検討	予備試験						
			交差点 4: その他(二輪など)	試験・評価方法検討	予備試験						
			後退時歩行者 対対向車	実施可能時期・技術の妥当性を確認(他の技術との関係を整理)							
	V2X	ユースケースの検討(V2N、V2I、V2V等)			試験・評価方法検討						
	高性能走行用前照灯	2018年度～									
	ペダル踏み間違い時加速抑制装置	試験・評価方法検討 (走行中・ガス対応等)			予備試験						
	車線逸脱警報装置・車線逸脱抑制装置	車線逸脱警報装置:2014年度～ ・ 車線逸脱抑制装置:2017年度～									
	新規追加	・ドライバーモニタリングシステム ・ドライバー異常時対応システム ・自動運転技術 等	新規追加項目検討			調査・研究 (追加項目)	試験・評価方法検討 (追加項目)	予備試験 (追加項目)			
	廃止検討		廃止検討		廃止検討		廃止検討		廃止検討		
				2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度～	
	衝突安全性評価	乗員保護	前面(フルラップ)	新オフセット前面衝突開始に伴うダミー変更							
			前面(オフセット)	新オフセット前面衝突開始に伴い廃止							
			前面(新オフセット(含THORダミー))	予備試験							
側面			評価廃止検討	評価改善検討							
後面頸部保護			評価廃止検討								
助手席・後席シートベルトリマインダ			2011年度～								
歩行者保護		頭部	試験・評価方法検討 (衝突ポイント拡大等の変更検討)					予備試験			
		脚部	予備試験 (aPLI)								
新規追加		・スモールオーバーラップ ・ファースайд側突 等	新規追加・項目検討			調査・研究 (追加項目)	試験・評価方法検討 (追加項目)	予備試験 (追加項目)			
廃止検討			廃止検討		廃止検討		廃止検討		廃止検討		
事故後被害軽減性能評価	事故後自動通報装置	調査・研究 (次世代)	試験・評価方法検討 (次世代)	予備試験 (次世代)	開始可否を確認中						
	その他事故後被害軽減技術(レスキューシート、ERG※3など)	追加新規項目検討			調査・研究 (追加項目)	試験・評価方法検討 (追加項目)	予備試験 (追加項目)				
情報提供	車内子ども置き去り防止支援装置										
	交通標識認識システム(TSR)										
	新オフセット前面衝突(後席Q6・Q10ダミー)	試験評価法の検討	情報提供方法検討	予備試験							
より安全なCRSの普及対策	CRS安全性性能評価	前面衝突時安全性性能		試験・評価方法検討 (R129対応)	予備試験 (R129対応)						
		側面衝突時安全性性能		試験・評価方法検討	予備試験						
	啓発	使用性	2001年度～								
			普及方策の検討								

※1 文字色 赤字: 前回ロードマップに追記、または変更したもの。セル色 水色は新規試験項目の調査・研究等、緑色: 評価(実施済、実施予定、変更予定を含む)、白: 未対応
 ※2 適宜見直しを行うため変更があり得る
 ※3 Emergency Rescue Guide
 ※※ 上記のロードマップの変更とともに責任点のあり方について検討を行うものとする
 ※※※ 各評価項目のシミュレーションによる評価の可能性について検討を行うものとする